

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：平成31年3月11日

事業所名 きっずリハビリテーションサポート

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	1		6		3月1日に新しい事業所に移転しました。新事業所は以前より広く、スペース的には十分に確保できています。
	2	職員の配置数は適切である	7			加配もしており、配置数は適切である。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	3		4		新事業所は、スロープや手すりの配置、洗面所やトイレ等、バリアフリー化の配慮をしています。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	3	3	1		
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	2	3	2		今回のアンケート結果を踏まえ、より良い支援が出来るよう努めてまいります。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している		2	5		前回実施の結果は利用者様への配布のみでした。今回の結果はホームページにて公開させていただきます。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		5	2		第三者による外部評価は行っていません。今後検討していきたいと思えます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6			福井市障がい児支援事業所連絡会への参加している。	全職員が年1回は所外研修に出るようになっていきたいと思えます。
適切 な 支 援 の 提 供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7			児童発達管理責任者を中心として、全職員による会議を行い計画の作成にあたっている。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	1		利用児に合わせたアセスメント・テストバッテリー(KIDS)を使用している。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	3	3	1	特に行事については職員全員で話し合っている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7			季節感を感じることが出来る活動を取り入れている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7			季節感を感じることが出来る活動を取り入れている。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6			1	利用児の特性を考えてグループ分けを行っている。

関係機関や保護者との連携	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	2		特に気になった児について話し合いを持っている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7			細かく記録し、誰が見てもわかるようにしている。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7				
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	3	3	1		地域交流の機会の提供が十分になされていないので、今後地域との交流についても検討していきたいと思います。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7				
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	4	1	2		特別支援学校との情報の共有は比較的しやすく感じますが、地域の学校について困難さを感じています。今後は、学校との情報共有にも力を注いでいきたいと思います。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている					現在医療的ケアの必要な児の受け入れはありません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	7			移行支援会議にも必ず参加している。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	2	3	2		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	3	2		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		1	6		利用者様からのご意見や職員間で話し合いながら、検討していきたいと思います。
	27	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加している		4	3		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7				
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	1	2	4		

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	1			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7			送迎の際等に家族とのコミュニケーションを図るよう努力している。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		3	4		父母の会、保護者会は開催していません。今後、利用者様からのご意見や職員間で話し合いながら、検討していきたいと思えます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7				
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	1	5	1	ホームページにて活動報告をしている。	タイムリーに活動報告が出来るよう努めてまいります。
	35	個人情報に十分注意している	7				
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7				
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		4	3		3月から新しい事業所に移転しました。これからも地域の方々にご協力いただけるよう努めてまいります。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	2			職員に対してはマニュアルの策定、周知はされていますが、保護者にまでは周知されていません。今後、保護者の方々とも共有できるよう検討していきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	1		H30年度、普通救命講習を受講(6名)。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	1			来年度より、順番に全職員が研修を受けるように計画しています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している				身体拘束をしていない	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	2	2		契約時に食物アレルギーについては書面で保護者から情報を頂いています。医師からの指示書は頂いていませんので、今後検討していきたいと思えます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	1	1		ヒヤリハットの報告はありますが、事例種の作成には至っていません。今後、検討していきたいと思えます。